

2022年8月9日



ペプチドリーム株式会社
<https://www.peptidream.com/>
(証券コード：4587 東証プライム市場)

各 位

ペプチドリームと RayzeBio 社、 新規の放射性医薬品の創製に関する戦略的提携を拡大

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下ペプチドリーム）と米国カリフォルニア州に本拠を置き標的型放射性医薬品を開発する RayzeBio, Inc.,（以下 RayzeBio 社）は、本日、2020年8月4日から開始しているペプチド-放射性核種複合体（以下 RI-PDC）を放射性医薬品として創製・開発する戦略的提携の拡大について以下の通り合意いたしましたので、お知らせいたします。

- RI-PDC の共同開発プログラムを新たに追加するため、戦略的提携の期間を延長
- 両社が共同開発する RI-PDC プログラムについて、当社が日本での開発・商業化を行うことができるオプション権を RayzeBio 社から当社に付与

【ペプチドリーム株式会社 代表取締役社長 CEO リード・パトリックのコメント】

「この度、RayzeBio 社との戦略的提携の拡大を発表することができ、また両社が取り組んできた RI-PDC プログラムの日本における開発・商業化に関するオプション権を当社が取得できたことを大変喜ばしく思います。PDR ファーマが当社の子会社として加わったことにより、私たちは RI-PDC 医薬品を日本で開発・販売することが可能となりました。これらのプログラムが当社の RI-PDC の製品ポートフォリオ拡充に大きく寄与していくものと期待しています。」

【RayzeBio 社 President and CEO Ken Song M.D.のコメント】

「RayzeBio 社とペプチドリームとの提携により、放射性医薬品としてファースト・イン・クラスとなる新たなターゲットに対する新規ペプチドの創製を行ってきました。この提携を通じて、私たちは様々ながん種において革新的な医薬品を開発し、患者さんのもとに届けることができるものと考えています。」

ペプチドリームについて

ペプチドリーム株式会社（TSE:4587）は、独自の創薬開発プラットフォームである PDPS (Peptide Discovery Platform System) を活用し、特殊ペプチド創薬に加えてファーマコフォア情報を用いた低分子創薬、およびペプチド-薬物複合体への展開を進めております。これによりペプチドリーム株式会社は特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。詳細については、<https://www.peptidream.com> をご覧ください。

RayzeBio 社について

RayzeBio 社は標的型放射線療法によりがん治療を改善していくことを目指すバイオテクノロジー企業です。臨床学的に検証された固形がんの標的に対してアルファ線を放出するアクチニウム-225などの核種を含む新規の薬剤を開発することに主眼を置いています。2020年に設立され、ヘルスケア領域で実績を持つ投資家から支援を受けています。詳細については、www.rayzebio.com をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
ペプチドリーム株式会社 IR 広報部 沖本
TEL : 044-223-6612